令和７年度　特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1　学校名　　立川市立上砂川小学校

2　令和７年度　学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・習ったことを使い学ぼうとする意欲を高める取組をした結果、肯定的な回答が 90%。 ・立川市民科公開講座を実施し互いに発表を見合ったことで、児童が見通しをもち学習に取り組むことができた。 ・保護者からも「地域のことを知ることができた」という声があり、少しずつではあるが、周知・理解が広がってきた。
立川市民科の取組の課題	・地域人材の高齢化、引継ぎができる形の模索。 ・学んだことをもとに、社会参画しようとする意識の向上。

3　令和７年度　学校評価に係る共通項目のうち

（１）対象：児童・生徒

項目：⑩立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
51.4%	38.6%	8%	2.1%	0%

（２）対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
49.6%	43.4%	0.5%	0.8%	5.7%